

自治体名の読みとコード(1/4)

解説と画像集

2017 年版、改定 2022-9

0. あらまし

郵便や宅配使う宛名と住所の書き方は、日本では、大きな都道府県名から市区町村名、そして番地・住居番号、そして宛名の順です。郵便番号は、漢字並びでは分かり難い宛先を数字並びでコード化するため、郵政省が 1968 年、機械化(オートメーション化)に向くように提案したのが始まりです。2001 年、中央省庁の再編を受け、郵政省は廃止され、2007 年に郵便事業の民営化に移行し、所管が総務省になりました。これと並行して、平成の市町村合併が行われ、自治体名のコード化が提案されました。郵便番号の利用が始まった 1968 年から 30 年もの遅れです。1968 年頃、コンピュータの利用技術は、今から見れば未熟でした。2022 年になっても、コード化の提案には多くのソフトウェア上の課題が続いています。大きな問題は、コード系の追加や削除の情報管理です。

筆者は、**橋の情報**を個人的に整理するため、種々のアラビア数字で提案されるコード系を利用してきました。橋は地域密着型の構造物ですので、所在地情報は必須です。参考資料として、2桁の都道府県コード(JIS X 0401-1973)、3桁の市区町村コード(JIS X 0402-2010)があります。合わせて5桁のアラビア数字を利用する方法は、当時の自治省が自治体コードとして 1970 年に提案していました。このコード系は、北海道から栃木県までの数字コードの頭2字が 01~09 です。パソコンの EXCEL を利用する情報処理では、頭が数字の 0 で始まるコードは**数値**で解釈される場合があって、整理作業に深刻な問題が幾つも発生しました。整理作業に使う EXCEL のファイルデータは、筆者個人の**アーカイブファイル**としています。

話しは少し変わります。テレビで地方の情報を放映している場合、画面に地域の市区町村名が表示されることがあります。洪水などの自然水害の場合、その場所がどの県のどの辺にあるかを知りたい手立てに、目録化したコード系の文書から探します。インターネットが普及してきましたので、文書化目録の利用は時代遅れであると考えられる向きがあります。使い易い文書にするため、筆者は、三種類の目録を作成しました。①コード順目録、②漢字コード順目録、③読み順目録です。一般の人には、一寸した旅行案内にも参考になる地図を集めました。ただし、自治体名は小さな文字で表示されていますので、見易い画像に差し替える必要があります。なお、郵便番号簿の目次は都道府県別に章が分けてあり、自治体名の位置が分かるような地図が付いています。この文書に利用している地図と出典が同じものがあります。

自治体名は、歴史的には、地域での個性的な命名が元ですので、和語の言い方が元になっています。行政機関側は、管理を考えて、読みを文字化する必要がありました。漢字の日本への輸入は、4~5世紀頃とされています。漢字を利用する律令(りつりょう)制度は、8世紀からであって、地方の行政区分を決める令制国(りょうせいこく)の名前が決められたのは 701 年とされています。元々は和語でしたが、漢字2字を恣意的に当てる方法が採られました。これが訓読みです。漢字には中国語の読みと意味とがあるのですが、全く無関係な漢字並びの名前です。この**行政区分名**は、明治4年の廃藩置県によって使わなくなりました。しかし、長い歴史がありましたので、現在では**地域区分名**として利用されています。

島田静雄

1. 都道府県名と令制国名

現在の京都市に設立された平安京は、794年から1849年までの1100年の間、実質的に日本の首都でした。首都圏は畿内と呼ばれ、京都を基点として7海道添いに、管理上の行政区分の令制国名が決められました。表1は、漢字表記、読み、漢字一字を使う例(和州など)を示したものです。濃尾平野は、美濃と尾張とを合わせ平野であることを示すような造語に使われます。廃藩置県によって都道府県名が行政区分名になりましたが、令制国名との対応については、常識として必要です。

表1 令制国名

畿内		
大和	やまと	和州
山城	やまし	山州、城州、雍州
河内	かわち	河州
和泉	いずみ/いづみ	泉州
摂津	せつつ	摂州
東海道		
伊賀	いが	伊州
伊勢	いせ	勢州
志摩	しま	志州
尾張	おわり/をはり	尾州
三河	みかわ/みかは	三州、参州
遠江	とおとうみ/とほたふみ	遠州
駿河	するが	駿州
伊豆	いず/いづ	豆州
甲斐	かい/かひ	甲州
相模	さがみ	相州
武蔵	むさし	武州
安房	あわ/あは	房州、安州
上総	かずさ/かつさ	総州
下総	しもうさ/しもふさ	総州
常陸	ひたち	常州
東山道		
近江	おうみ/あふみ	江州・近州
美濃	みの	濃州
飛騨	ひだ	飛州
信濃	しなの	信州
上野	こうずけ/かうづけ	上州
下野	しもつけ	野州
陸奥	みちのおく/みちのく/むつ	奥州/陸州
出羽	でわ/では	羽州;
北陸道		
若狭	わかさ	若州
越前	えちぜん/ゑちぜん	越州
加賀	かが	加州
能登	のと	能州
越中	えっちゅう/ゑつちゅう	越州
越後	えちご/ゑちご	越州
佐渡	さど	佐州、渡州
山陰道		
丹波	たんば	丹州
丹後	たんご	丹州
但馬	たじま/たちま	但州
因幡	いなば	因州

伯耆	ほうき/はうき	伯州
出雲	いずも/いづも	雲州
石見	いわみ/いはみ	石州
隠岐	おき	隠州
山陽道		
播磨	はりま	播州
美作	みまさか	作州
備前	びぜん	備州
備中	びっちゅう/びつちゅう	備州
備後	びんご	備州
安芸	あき	芸州
周防	すおう/すはう	防州、周州
長門	ながと	長州
南海道		
紀伊	きい	紀州
淡路	あわじ/あはぢ	淡州
阿波	あわ/あは	阿州
讃岐	さぬき	讃州
伊予	いよ	予州
土佐	とさ	土州
西海道		
筑前	ちくぜん	筑州
筑後	ちくご	筑州
豊前	ぶぜん	豊州
豊後	ぶんご	豊州
肥前	ひぜん	肥州
肥後	ひご	肥州
日向	ひゅうが/ひうが	日州、向州
大隅	おおすみ/おほすみ	隅州
薩摩	さつま	薩州
壱岐	いき	壱州
対馬	つしま	対州
北海道(明治の一時期)		
渡島	おしま/をしま	渡州
後志	しりべし	後州
胆振	いぶり	胆州
石狩	いしかり	石州
天塩	てしお/てしほ	天州
北見	きたみ	北州
日高	ひだか	日州、高州
十勝	とかち	十州
釧路	くしろ	釧州
根室	ねむろ	根州
千島	ちしま	千州



図1 令制国の区分

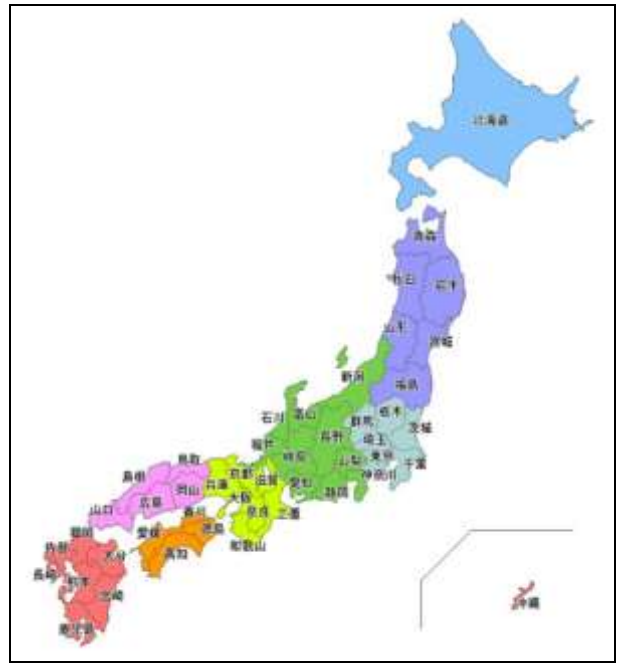


図2 日本全国を9の地域区分に分けた図

行政単位の種別は 47 都道府県に分けます。北海道は、都府県の面積と同じ程度の地域自治体の集合に分けることを考えると実践的です。その分け方に、14の振興局の区分を当てることにしました。この文書では、振興局名の最初の2字を、都府県名のように使うことにしています。下に続く14の図には、振興局ごとの自治体名を示しました。図3の付属図と考えて下さい。自治体名は、12ポイント程度の、読み易い大きさです。北海道を除く都府県名の自治体が、その県のどの位置にあるかの地図は、郵便番号簿を参照できます。市町村合併などで消滅した自治体名を含めた資料は、筆者が3分冊に編集した「自治体名の読みとコード」を参照して下さい。



図3 北海道の14の振興局名



① 空知総合振興局



② 石狩振興局



③ 後志総合振興局



④ 胆振総合振興局



⑤ 日高振興局



⑥ 渡島総合振興局



⑦ 檜山振興局



⑧ 上川総合振興局



⑨ 留萌振興局



⑩ 宗谷総合振興局



⑪ オホーツク総合振興局



⑫ 十勝総合振興局



⑬ 釧路総合振興局



⑭ 根室振興局

2. 都府県別の自治体地図

下に並べた府県別の地図は、インターネットを検索して集めた図です。同じ出典の図が、郵便番号簿にあります。この文書では、残念ながら、文字の寸法が小さくて、読み難いので、描き直して差し替える必要があります。



青森県



岩手県



宮城県



秋田県



山形県



福島県



茨城県

自治体名の読みとコード(1/4) 解説と画像集

		
栃木県	群馬県	埼玉県
		
千葉県	東京都	神奈川県
		
新潟県	富山県	石川県

自治体名の読みとコード(1/4) 解説と画像集

		
福井県	山梨県	長野県
		
岐阜県	静岡県	愛知県
		
三重県	滋賀県	京都府

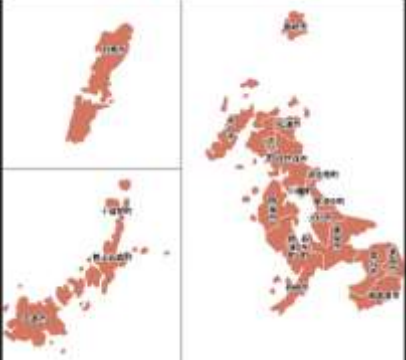
自治体名の読みとコード(1/4) 解説と画像集

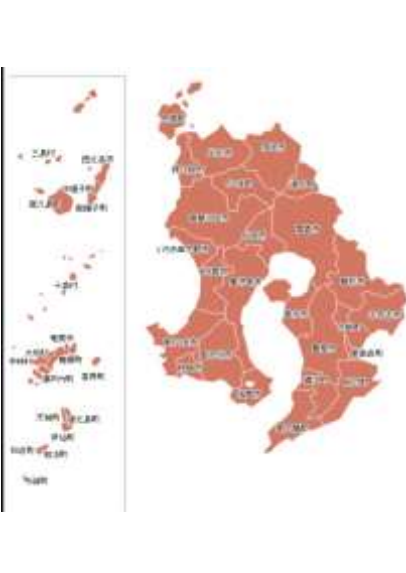
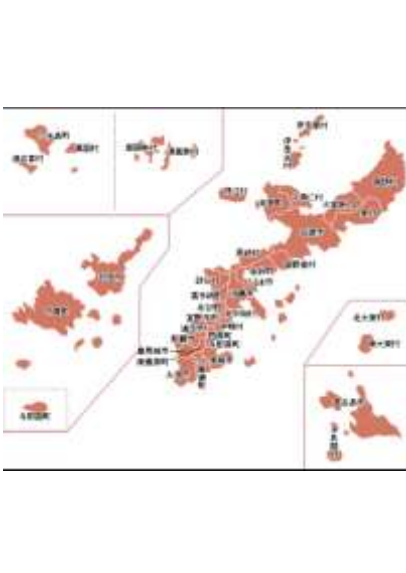
		
大阪府	兵庫県	奈良県

		
和歌山県	鳥取県	島根県

		
岡山県	広島県	山口県

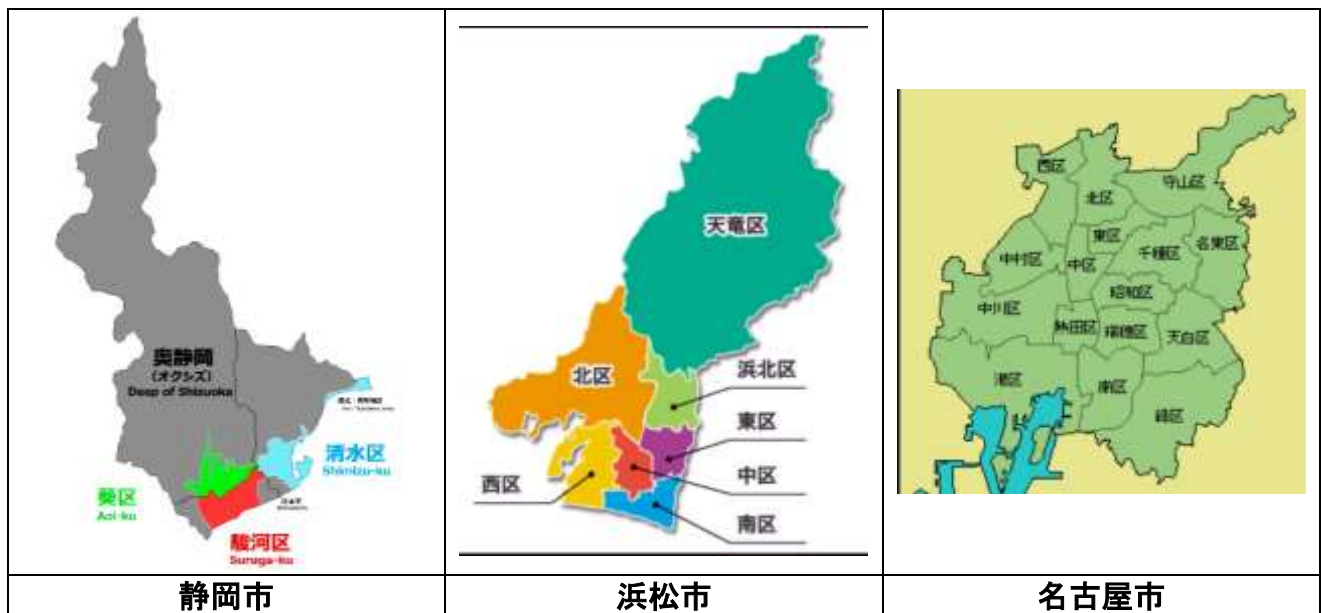
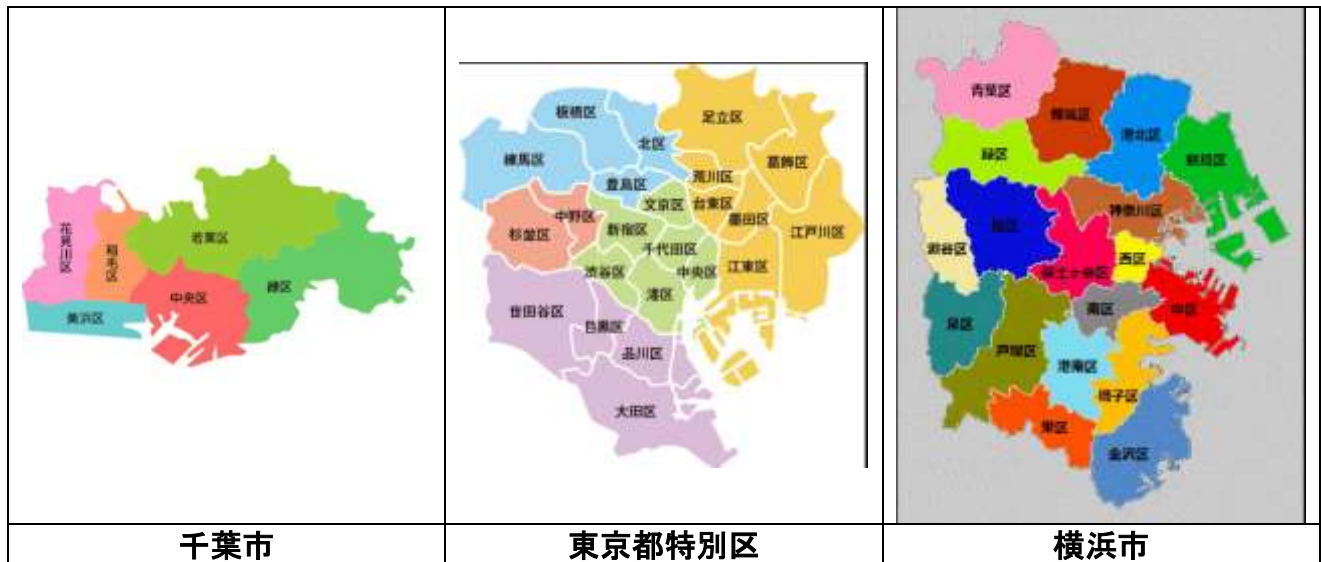
自治体名の読みとコード(1/4) 解説と画像集

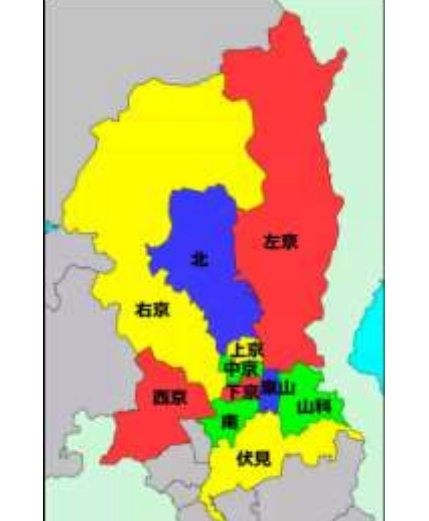
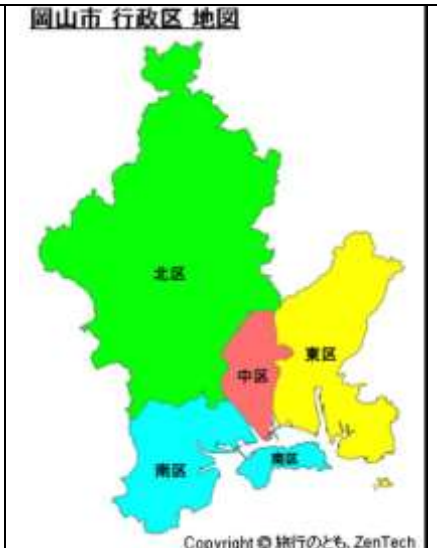
		
徳島県	香川県	愛媛県
		
高知県	福岡県	佐賀県
		
長崎県	熊本県	大分県

		
宮崎県	鹿児島県	沖縄県

3. 政令指定都市の区分地図

		
札幌市	仙台市	さいたま市



		
京都市	大阪府	堺市
		
神戸市	岡山市	広島市
		
北九州市	福岡市	熊本市